

# セルフ・サービスのしかた

CORONA **MARK II 1700** HARDTOP / **1900** HARDTOP



## ジャッキと工具



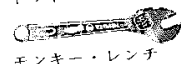
ハブ・ナット・レンチ

プラグ・レンチ

ドライバー ⊕ ⊖



ドライバー ⊖



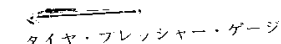
モンキー・レンチ



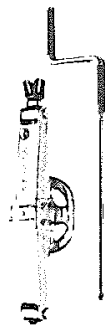
組スパナ



プライヤー

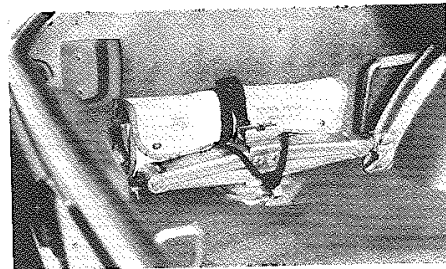


輪止め



ジャッキ・ハンドル

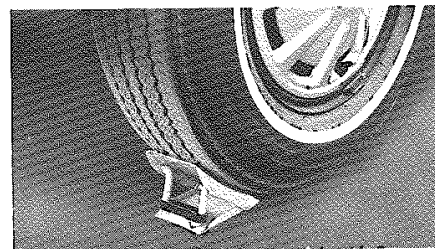
## ■格納位置



工具とジャッキはトランク・ルーム内に格納されています。

## パンクの処置

### 1=準備



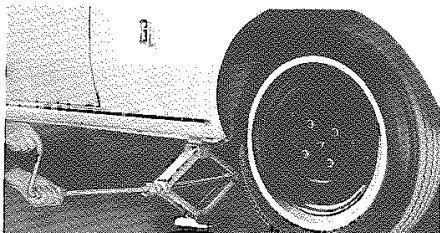
まず、同乗者や重い荷物等をおろします。次にジャッキ・ハンドルおよび工具を取出し、しっかりと輪止めをしてください。

## 2 = スペア・タイヤ

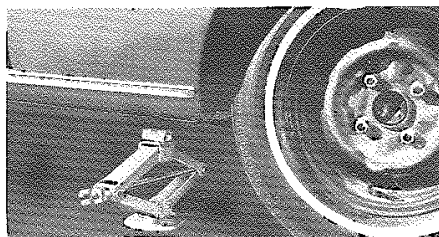


ジャッキがはずれた場合の危険防止のため、スペア・タイヤをハンクした車輪のボデー下においてください。

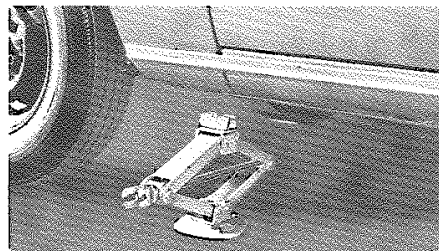
## 3 = ジャッキのセット



交換する車輪に近いサイド・レールに、ジャッキの受けをはめます。



フロント側……フロント・フエンダー取付けボルト横のサイド・レールにかけます。

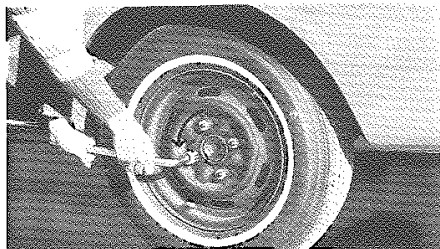


リヤ側……サイド・レールの切りかき部にジャッキをかけます。

## 4 = ホイール・キャップの取り外し

ドライバーまたは、ハブ・ナット・レンチのとがった方で、はずします。

## 5 = ハブ・ナットをゆるめる



ハブ・ナット・レンチで4個とも半回転位ゆるめます。(ナットをはずすと危険)

## 6 = ボデーをもちあげる

タイヤと地面が2cmくらいあくまで、静かにジャッキ・ハンドルをまわす。(ボデーの下に入るのは危険)

## 7 = 車輪をとりかえる

ナットをはずし、車輪を少しあげるようにしながらはずします。

スペア・タイヤをボデーの下から取り、その位置にはずした車輪をおきます。

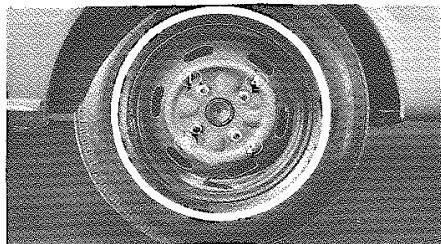
〈ジャッキがはずれたときの危険防  
無断複製禁止

止)スペア・タイヤをはめ、ナットの平面の方を外側にして車輪にあたるまで締付けます。

ナットを磨に落着かせるためにゆっくり車輪をまわしながら、ナットを締付けます。

8=ボデーをおろす

9=ナットを締付ける



10=ホイール、キャップをはめる

11=タイヤの空気圧を正規にする

12=車輪と工具をかたずける

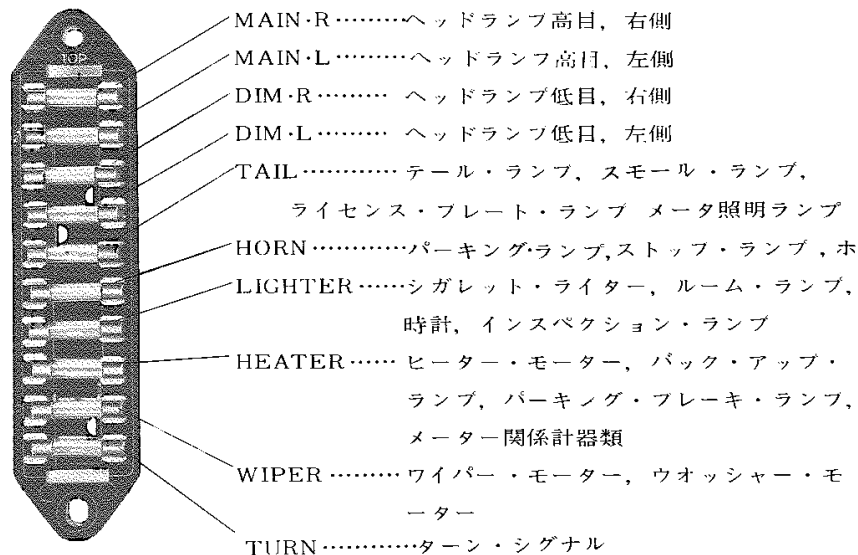
## ヒューズ・ランプ類の交換

### ■ヒューズ

各ヒューズの受持っている電気関係の部分は写真のようになっていきます。

ヒューズ切れを確認するときには、その

ヒューズを受持っている電気関係の部分が全部作動するかを見て、全部作動しない場合にはヒューズ切れ、その中の1つだけが作動しないときはヒューズ切れではありません。



## 断線したヒューズを発見するための一覧表

不具合箇所 (点灯動作せず) ヒューズ	ヘッドランプ上向	ヘッドランプ上向左	ヘッドランプ下向右	ヘッドランプ下向左	フロントの車幅灯	テールランプ	ライセンス ブレークトランプ	コンビネーション メータ照明ランプ	ホーン	ストップランプ	コンビネーション メータ内のゲージ	パーキング ブレーキランプ	ウケフ エンジン チャージ ランプ ONにあれば点灯	エンジン 点灯 ONにあれば点灯	エンジンの回転中のみ	ヒータのプロワモーター	ワイパモーター	ウインドウオッシャー	ターンシグナルランプ	ハザード ウオード ランプ	時計	シガレットライター	ルームランプ	バンクアップランプ	パーキングランプ	
	MAIN. R 10A	○																								
MAIN. L 10A		○																								
DIM. R 10A			○																							
DIM. L 10A				○																						
TAIL 10A					○	○	○	○																		
HORN 20A									○	○																○
GAUGE 5A																				○	○	○	○			
LIGHTER 20A											○	○	○	○	○									○		
WIPER 20A																	○	○								
TURN 15A																			○							

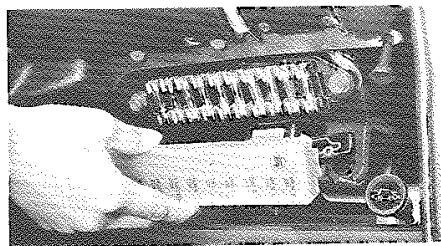
例……WIPER ヒューズを点検するとき

1. ワイパーもウォッシャーも作動しない……ヒューズ切れ。

2. ワイパーは良いがウォッシャーが作動しない……ヒューズは切れていな

い。

点検は例のようにして行なってください  
万一、この方法でだめのときは他に故障  
がありますからこのときはサービス工場  
に絡してください。



カバーは両端をもってはずします。  
ヒューズは、スペア・ヒューズの中から  
規定のものを選んでつけます。

もし規定のヒューズの持ち合わせがない  
ときは一時的に他のスペア・ヒューズを  
使用し、その後規定のヒューズととりか

えます。何度もヒューズが切れる場合は、  
決して大容量のヒューズを使用しないで、  
サービス工場に連絡してください。

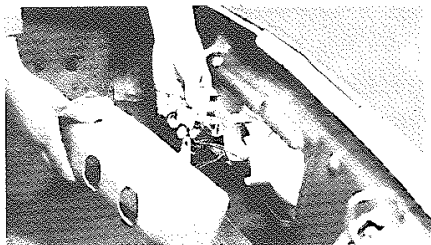
## ■ランプ類の交換

### ストップ・ランプ……

ブレーキ・ペダルを踏んで、ランプが両  
方ともつかないときはホーンを鳴らして  
みます。ホーンが鳴らないときはヒュー  
ズを調べます。

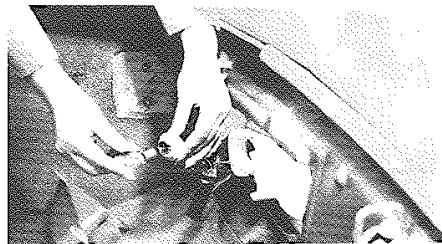
ホーンが鳴るとき、またはストップ・ラ  
ンプがつきっぱなしのときは、サービス  
工場に連絡してください。

片方つかないときは、電球を取りかえて  
ください。



トランク・リッドを開けて、ランプ裏側  
のバルブ・ソケット・カバーのセット・

ナットをはずし、カバーをはずします。



電球を少し押さえながら左にまわしては  
ずします。

電球は12V—23W/ 8のダブル・フライ  
メントです。

23W………ストップ・ランプ

ターン・シグナシ・ランプ

8 W………テール・ランプ

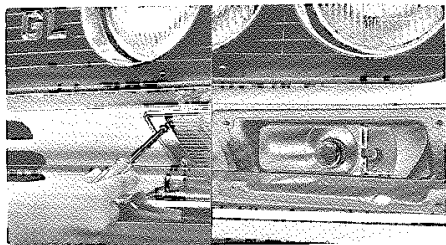
ターン・シグナル・ランプ

エンジン・スイッチをONにして調べま  
す。左右どちらか一方の、ターン・シグ  
ナル・インジケター・ランプがつき  
っぱなしか極端に点滅回数が少いときは、  
前後どちらかの電球が接触不良か切れて  
います。

リヤが切れている場合にはストップ・ラ  
ンプ

無断複製禁止

ランプの交換と同様に行なってください。



フロントの場合は④ドライバーでビスをはずしてレンズをはずします。

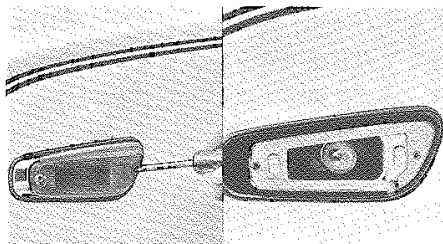
電球は少し押さえながら左にまわしてははずします。

電球は12V—23/8Wのダブル・フィラメントです。

23W………ターン・シグナル・ランプ

8W………スモール・ランプ

点滅がどさらか遅いときは遅い方のサイド・ターンシグナル・ランプが接触不良か切れています。



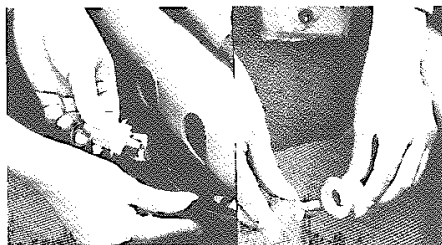
④ドライバーでビスをはずし、レンズをはずします。電球を少し押さえながら左にまわしてははずします。

電球は12V—8Wです

バックアップ・ランプ……

エンジン・スイッチONのとき両方ともつかないときは、チャージ・ウォーニング・ランプおよびオイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプが点灯するか調べます。点灯するときはサービス工場で点検を受けてください。

片方つかないときは、ランプが接触不良



か切れています。

ソケットを左にまわしてははずします。電球は12V—23Wです。

#### 《注意》

トヨグライド車はエンジンをかけてレンジにして点燈を確認してください。

ヘッドランプ……

ヘッドランプは、左右、高目、低目が各各別のヒューズになっていますので、万一走行中、一つのヒューズが切れても反対側のヘッドランプは消えませんが安全です。

どれか一つつかない場合にはヒューズを調べます。ヒューズに異状がないときはサービス工場でランプを取換えてください。

テール・ランプ、スモール・ランプ…  
テール・ランプ、スモール・ランプ、ラ  
イセンス・プレート・ランプが全部つか  
ないときはヒューズを調べます。  
一つつかないときはランプが接触不良か  
切れています。

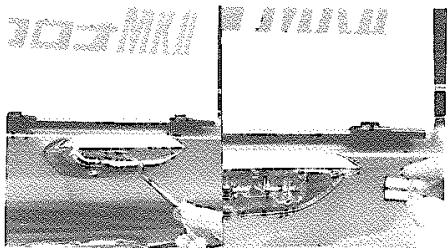
### A テール・ランプ

ストップ・ランプと同様に行ないます。

### B スモール・ランプ

フロント・ターン・シグナル・ランプと  
同様に行ないます。

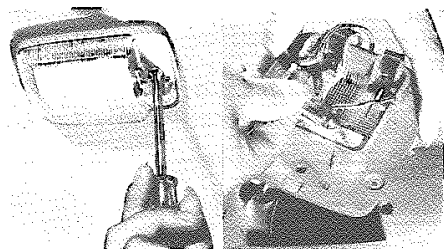
### C ライセンス・プレート・ランプ



⊕ドライバーでビスをはずして、レンズ  
はずします。電球は少し押さえて左にま  
わしてはずします。

電球は 12V-8Wです。

### ルーム・ランプ



スイッチをOFFにしてランプ取付けピ  
スをはずし、ランプをはずします。

電球は引っぱってはずします。

電球は 12V-10Wです。

## けん引の方法

### ■ けん引ロープをかける位置



フロントにロープをかけるときは、写真  
のようにけん引フックにかけてください。

### 《注意》

けん引フック以外にはかけないでくださ  
い。

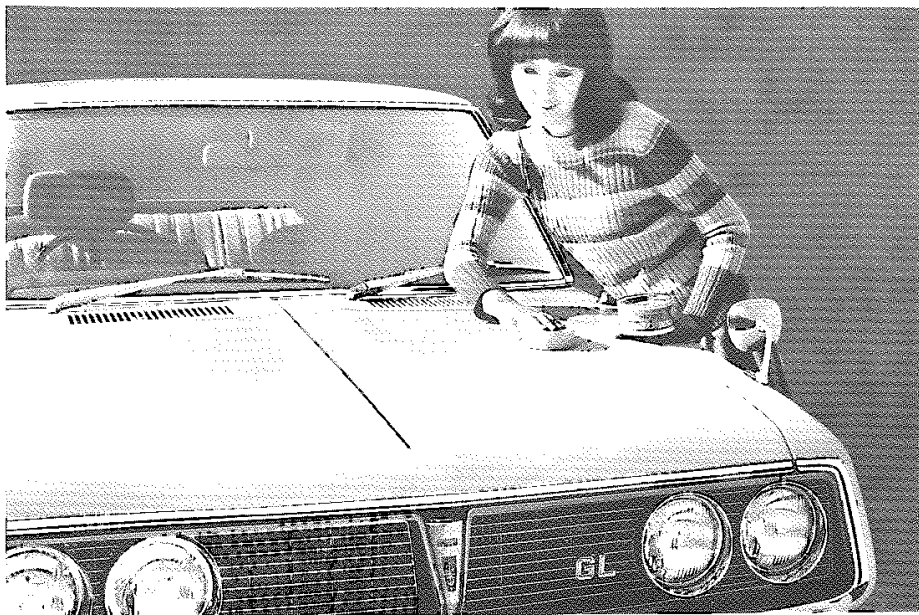
リヤ側にロープをかけるときは、リーフ・  
スプリングの後端にかけてください。

けん引フックはコロナ取扱店でお買い求  
めください。

# 塗装の手入れ

CORONA **MARK II 1700** HARDTOP / **1900** HARDTOP

コロナの外観をいつまでも美しく保つために、塗装の手入れは非常に大切なものです。定期的な手入れをすることにより、塗装面の美しい光沢を維持することができますので、正しい塗装の手入れ法をよく理解してください。



## ■洗 車



洗車は適時つぎのように行いません。

①水圧を上げ水をボデーの下まわりにふきつけ付着している泥を落します。

特にフェンダー内側は入念に洗います。

②ボデーに充分水をかけながら、スポンジなどでよごれを洗い落します。水量が少ないとほこり、泥によるすり傷がつかますのでご注意ください。しかしドアおよびクォーター・ウインドウ・ガラス回りを洗うときは水圧を上げ過ぎないでください。

③水洗いで落ちにくい汚れは、トヨタ・カー・シャンプー液または中性洗剤を使用するときれいに落ちます。

### 《注意》

洗剤を使用する場合、ポデーは必ず体温以下になってからにしてください。また洗剤が残らないようにしてください。

④タイヤに水をかけ、ブラシに石けんなどをつけて洗います。

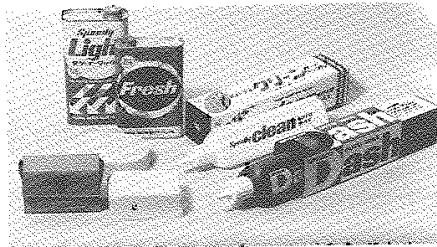
タイヤがきれいだと車も一段と美しさが引き立ちますので念入りに洗いましょう

⑤ポデーに残っている水分は、スポンジまたはセーム皮でよくふきとります。

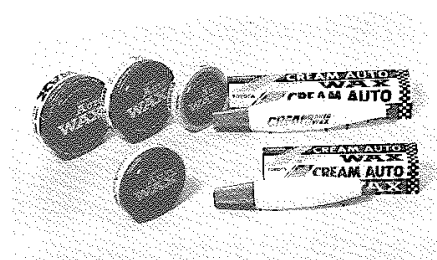
水滴が付いたままにしておきますと、塗装にはん点がついてしまうことがありますので注意してください。

### ■ワックスがけ

ワックスがけは、一カ月に一度、および水をはじかなくなったときに行なってください。塗装の表面にワックス分がなくなると、美しい光沢を失い、塗装の老化を早めます。このため定期的に良質のワックスを塗布して塗装の保護をしてください。塗装の保護には、トヨタ・オート・ワックスまたはトヨタ・スピーディ・ダッシュをおすすめします。



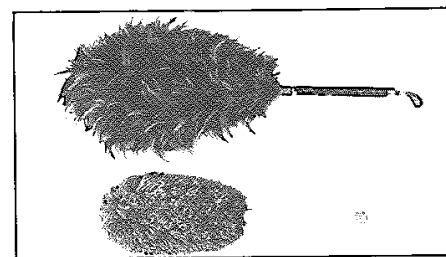
トヨタ・スピーディ・ダッシュの使い方は、少しづつ塗りながら仕上げてください。



オート・ワックスの使い方は、ワックスを柔らかい布で、表面の光沢が少しにごる程度にまんべんなく塗布し、ワックスが乾いてから、別の柔らかい布でみがき

あげてください。

スピーディ・ダッシュは早く仕上げる事ができますが、オート・ワックスにくらべて、ワックス分が早くなります。ホコリがとれにくいときには帯電防止剤入れワックスをおすすめします。おちにくい水垢、ピッチ、タールなどが



付着しているときは、オート・ワックスクリーナーをおすすめします。

## 《注意》

ボデーのほこりなどは、モップ、毛ばたきまたは柔らかい布ですり傷をつけないようにとり去ってください。塗装面の



よごれは水洗いし、水分はよくふきとってからワックスがけしてください。

体温以下にしてからワックスがけをしてください。

塗装面に異物が付いたままにしておくと塗装面が化学変化しやすく、はん点、変色の原因になりますので、すみやかに塗装の手入れをしてください。

(a) ほこり泥がついたとき

(雨あがり後または雪どけ道などを走行した場合)

洗車およびワックスがけを行なってくだ

さい。

(b) ばい煙、ピッチ、タール、虫または鳥のふんなどが付いたとき、

洗車およびワックスがけを行なってください。

(c) 塩分が付いたとき、

(海岸地帯などで海水が付いたとき、また道路凍結防止剤などが散布してあるところを走行した場合)

洗車およびワックスがけを行なってください。特に下まわりは入念に行なってください。

## 《注意》

塩分による塗装の老化を防ぐため、塩分がとれるまで充分水洗いを行なってください。

## ■コンパウンドみがき

塗装の外観が極度に悪くなり、光沢、色調が回復し難い場合は、粒子の細かい、コンパウンドを選んで表面を軽くみがきます。この場合、局部的にみがくことはさけてある程度の広さを同一方向にみがいてください。

コンパウンドでみがいたあとは、充分水洗いをし、ワックスにより美しい光沢をとりもどしてください。

## 《注意》

コンパウンドみがきをひんぱんに行ったり、みがく方法を誤りますと下地が出てきますので、取扱店または塗装専門店に依頼されることをおすすめします。